

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	5	学校名	仙台市立東六番丁小学校	校長名	鳩原 淳子
------	---	-----	-------------	-----	-------

## 1 取組のタイトル、テーマ

人にも自然にもやさしい環境づくりへの取組



## 2 取組の紹介

### (1) 資源を大切に取る取組

本校では、各学級や特別教室において「燃えるごみ」と「プラスチックごみ」の2種類のごみ箱を設置しています。毎日の継続的な取り組みにより、ごみの分別や資源を大切に取る意識が高まっています。職員室においても、全職員で段ボールや古紙などの分別を行い、裏面がまだ使える紙類を集めて「裏紙」として再利用するなど、ごみの減量にも取り組んでいます。他にも、教室を空ける時には消灯してから移動することや、手洗い場では大切に水を使うことなどを呼びかけています。節電や節水など、日々の生活の中でできることから少しずつ継続して取り組むことで、エコ意識を高めています。



校内掲示ポスター



ごみ置き場の分別の様子



教室のごみ箱



カートリッジ回収箱

### (2) 委員会での取組

本校は8月に新校舎が完成し、10月から新校舎での学校生活が始まりました。それに伴い、各委員会で校舎をきれいに使うための取組を考え、実践しています。例えば、美化委員会では、掃除の仕方について紹介するビデオを作成しました。きれいな校舎をみんなで長く大切に使い続けよう、全校で取り組んでいるところです。



新校舎の写真

### (3) 児童会まつりでのごみを減らす取組

10月に開催された児童会まつりでは、4年生から6年生までの各学級がお店を出店するにあたって、まつりの運営を担う運営委員会が、できるだけごみを出さない店づくりのルールを設定し、エコな祭りになるように放送等で呼びかけました。児童会まつり終了後の片付けの際には、段ボールからガムテープを外してから段ボール置き場に戻すように声掛けをすることで、そのまま資源回収へ出すことができました。

## 3 取組の成果 (児童の変容)

エコに関する取組を学校生活全体を通じて継続してきたことで、児童の3R (リデュース・リユース・リサイクル) やSDGsに対する意識が高まってきました。今後も、身近な環境に目を向け、自分たちができることは何かということを考えながら、資源の大切さや物を大事にする優しい気持ち、思いやりの気持ちを高められるよう、エコ・スクール活動を今後も継続して行っていきます。